

宮城を、
あなたの
舞台に



宮城県職員募集
2026

一般事務

業務紹介

◆ 概要

庶務や予算、経理、県税の賦課徴収、用地交渉、
企画等の行政事務

◆ 勤務先

本庁各課
地方機関（県税事務所、地方振興事務所、保健福祉事務所など）

自己紹介

- ◆ 出身 : 宮城県仙台市
- ◆ 入庁までの経歴 : H23.3 県内高校卒業 H23.4 入庁

入庁後の異動歴（現在入庁16年目）

H23.4～ **土木部 下水道課 調整班**

庶務業務

H26.4～ **保健福祉部 リハビリテーション支援センター 総務企画班**

庶務業務

H29.4～ **総務部 秘書課 総務班**

庶務業務

R2.4～ **保健福祉部 医療人材対策室 医師定着推進班**

宮城県医師育成機構、ドクターバンク、メディカルキューピット、医師確保に関する広報など

R5.4～ **復興・危機管理部 復興支援・伝承課 震災伝承班**

広報紙、SNS、みやぎ鎮魂の日、中小企業向け防災研修、交流人口拡大による被災地活性化など

R8.4～ **総務部 人事課 総務班**

栄典、職員表彰、知事表彰など

志望動機

◆ なぜ公務員？

福利厚生がきちんとしている

特定の分野だけではなく、幅広い分野の業務に携わることができる

◆ なぜ宮城県庁？

宮城県出身であり、愛着があった

いくつかの他県にも住んだことがあるが、宮城が一番住みやすい

これまでに担当した業務の紹介

◆ 庶務担当

収入、支出、給与、旅費、物
品・福利厚生など



＜良かった点＞

県庁の基本的なルール、事務処
理の流れを知ることができる。
定例的な業務が多め。

◆ 事業担当

チラシ・広報紙の作成、SNSに
よる情報発信、研修や行事の
実施、対外的な調整など



＜良かった点＞

新しい知識、スキルを得ることができる。
自分の考えや意見を事業内容に反
映することもできる。

現在の担当業務の紹介

◆ 栄典事務

＜叙勲・褒章＞

春秋叙勲、死亡叙勲、紺綬褒章など

→国への推薦書類の調製や取りまとめ、勲章・褒章伝達式の開催など

◆ 表彰事務

＜職員表彰＞

優良職員表彰、永年勤続者表彰 →表彰式の開催など

＜知事表彰＞

県民栄誉賞、特別表彰など →表彰状や記念品の準備など

入庁前のイメージとのギャップ°

◆ 入庁前のイメージ

若手は意見を言えず、上司の指示従い業務をこなしていく
デスクワークが多い
古い風習がずっと残っている

◆ 入庁してみたら・・・

若手の意見も聞いてもらえる。
どのような業務でも何かと出張はある
常に新しい取り組みに更新されている

仕事をする上で心がけていること

◆ 何が目的（ゴール）なのかを考えること

そもそも何のため？ 誰のため？ なぜこの業務をこの手法で行っているのか？
理解しないままに、何となく前例踏襲で進めるよりも、自分で理解し、納得
した上で業務を進めると、達成感が違う

◆ ある程度自分の考えを持ちつつ上司に相談すること

報告・連絡・相談（ホウレンソウ）は大事。
でも何の考えもなしに相談し、ただ指示に従うだけでは成長しない。

印象に残っている業務

震災伝承に関する業務

伝承活動をしている方々のお話を直接聞くことができたり、県内外の伝承施設を訪問し、学ぶことが多かった。

東日本大震災15年祈念行事にも携わることができ、貴重な経験となった。



仕事のやりがい

◆ 宮城県職員だからこそ経験できる業務がたくさんある

民間企業ではできないこと、県職員ならではの業務に携わると、
県職員になってよかった、と思う

（メダリストの表彰式に立ち会える など）

◆ 自分が関わったものが世の中に出ていくこと

一生懸命取り組みれば取り組むほど、達成感があり、やりがいを感じる

（広報紙を一般の方が手に取り読んでくれている など）

職場の雰囲気

◆ 時には雑談もしながら和気あいあいとしている

基本的には真面目に仕事をしているものの、時には雑談もしたり、コミュニケーションをとりながら業務に取り組んでいる

◆ 困った時は助け合う、チームプレー精神

体調不良で出勤できない、仕事が思うように進まず処理しきれない、という状況になっても、仕事は組織でするもの。困った時はお互い様なので、みんなで協力して取り組むことが当たり前！

宮城県職員の魅力

◆ 幅広い分野で活躍できる

行政職はどの部局にも異動する可能性がある

色々経験してみて、自分が得意な分野を見つけることも可能

◆ 福利厚生が充実しており、働き方も人それぞれ

諸手当や休暇制度などが充実している

勤務時間や勤務場所など、個人の事情に合わせて働くことが可能

私の公務員試験対策

◆ 筆記試験

→ひたすら過去問を周回する

◆ 面接試験

→入室から退室までの動き（流れ）を練習しておく
文章を丸暗記せず、言いたい内容だけ覚える

先輩職員からのメッセージ

宮城県職員は、魅力がたくさんあります。

一緒により良い宮城をつくりませんか？

皆さんと一緒に、楽しく働ける日を心待ちにしています！